

九州・新長期ビジョン構成図

第1章 九州の現状と課題

取り巻く社会の潮流と九州

少子高齢化と過密・過疎化の進行
社会の成熟化と価値観の多様化
環境問題の深刻化
高度情報化
社会経済のグローバル化
地方分権と住民参加の高まり

九州の地域特性

- 国土の中の九州**
- ・地理的・歴史的にアジアへの窓口
 - ・一国に匹敵する九州の地域ポテンシャル
- 自然・地理的な特性**
- ・豊かな自然に恵まれる
 - ・離島や半島など地理的制約が多い
 - ・自然災害が多い
- 地域構造**
- ・ある程度の規模の都市が分散配置
 - ・福岡一極集中と東西間・南北間の格差
 - ・県境を越えた経済圏の形成
- 産業**
- ・九州は食料・木材の供給基地
 - ・競争力の低下が懸念される製造業
 - ・豊富な観光資源
 - ・進展するサービス産業
 - ・国内物流の高コスト構造

九州各地で進められる地域づくり

たくましく挑戦する豊かな地域づくり・人づくりを目指す九州7県（九州各県の長期計画）個性を活かし行政の枠をも越えた「連携・交流」の展開
流域連携の展開
環境と共生した産業展開
東アジアとの連携・発展
『九州はひとつ』への取り組み

九州における社会資本整備の役割と今後の要請

九州における社会資本整備の果たしてきた役割

- ・伝統的な技術の土木遺産が多い
- ・我が国の先進土木技術の先駆け

社会基盤整備の相対的な立ち遅れ

九州における社会資本整備に対する要請

- ・基本的な社会基盤の整備
- ・既存ストックの有効活用と効率的な投資
- ・環境分野やソフト施策への広がり

安全な国土

環境との共生

安心・ゆとり暮らし

産業・経済の支援

個性と自立

連携・交流

国際化

九州におけるこれからの地域づくりの課題

第2章 九州の将来像

スローガン

都市と自然、アジアが身近な21世紀のフロンティア九州

5つの将来目標

- 東アジアとの国際交流を先導する地域へ
- 自立・一体的な活力ある地域へ
- 豊かな個性が輝く地域へ
- 環境と共生した循環型社会へ
- 安全で安心できる・ゆとりある暮らしへ

第3章 将来像の実現に向けた基本施策

基本施策の考え方

多様な交流と連携の支援

基本施策の方向

暮らしを守る国土と環境の保全・再生

流域圏を基本とする国土管理
自然災害からの国土保全
豊かな自然環境の保全・再生

自然と都市サービスを楽しめる都市・自然交流圏づくり

個性にあった都市機能の充実
多自然居住圏の創造
離島・半島の基盤整備

地域の活力を支えるネットワーク型交流基盤づくり

広域交流ネットワークの充実・強化

- ・循環型交通ネットワークの充実
- ・情報通信ネットワークの構築

東アジア経済圏を中心とした九州広域国際交流圏の形成

第4章 施策展開と推進方策

基本施策に沿った施策展開

- ・住民とのパートナーシップ、多様な主体の参加と連携を促すためのコミュニケーション型行政の推進
- ・統合のメリットを活かした、「選択」と「集中」による事業の推進

安全な国土・危機管理の充実

- ～安全・安心な国土管理ビジョン～
- ～自然災害から都市と地域の暮らしを守ります～
- ～災害に備えて危機管理体制を充実します～

循環型社会に向けた社会基盤づくり

- ～美しく豊かな自然環境ビジョン～
- ～自然環境を保全し、新たな再生に取り組みます～
- ～地球環境に貢献する環境負荷の少ない社会基盤を整備します～

拠点都市の機能高度化

- ～潤いと賑わいの都市再生ビジョン～
- ～都市の顔となるまちづくりを進め活力と魅力を高めます～
- ～潤いのある快適な居住環境を整備します～

多自然居住地域の生活基盤づくり

- ～ゆとりと安らぎの多自然居住ビジョン～
- ～拠点都市との交通・情報アクセスを充実します～
- ～自然に囲まれた個性とゆとりの居住地域を創造します～

広域交流ネットワークの確立

- ～産業・交流支援のネットワークビジョン～
- ～産業経済・地域を支えるため、九州内の3時間圏域を目指します～
- ～連携をとった総合ネットワークを進めます～

環黄海・東シナ海を中心とした国際交流基盤づくり

- ～アジアが身近な九州国際交流推進ビジョン～
- ～産業から観光まで国際競争力を高める基盤づくりを充実します～
- ～東アジア1日交流圏形成を目指して空港アクセスを充実します～

施策の推進方策

- 多様な主体の参加と連携を促すコミュニケーション型行政の推進
- ・説明責任(アカウンタビリティ)の向上
 - ・住民とのパートナーシップによる協働
 - ・多様な主体の参加と連携による地域づくりの支援
- 良質な社会資本整備の推進
- ・効率的・効果的な事業実施と公平性・透明性の確保
 - ・地域プロジェクトの発掘・育成と推進
 - ・統合のメリットを活かした連携施策の推進
 - ・選択と集中による効果の早期発現
 - ・既存ストックの適正な管理と有効活用
 - ・総合的なコスト削減の徹底
 - ・入札・契約制度改革による公平性・透明性の確保
- マネジメントサイクルの確立に向けた評価システムの充実
- 新技術の活用促進及び技術開発の推進

第5章 今後の課題

- 地域づくりの取り組みを育てるしくみづくり
- 地域が選択するしくみづくり
- 九州全体で一体となって進める体制づくり
- 計画のフォローと見直し